

2025年5月8日

株式会社サンリオとの新作ゲームの共同開発の 合意 及び 今後のエンタメ事業方針について

株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

株式会社サンリオとの新作ゲームの共同開発の合意 及び 今後のエンタメ事業方針について

本スライド資料では、エンターテインメント事業における
株式会社サンリオとの新作ゲームの共同開発の合意に関するお知らせ、
及び 今後のエンターテインメント事業の事業方針をまとめています。

アジェンダ

1. 株式会社サンリオとの新作ゲームの共同開発の合意に関するお知らせ
2. エンターテインメント事業の今後の事業方針

株式会社サンリオとの 新作ゲームの共同開発の合意に関するお知らせ

※ 2025年5月8日に開示した「株式会社サンリオと株式会社エイチームエンターテインメントによる新作ゲームの共同開発の合意に関するお知らせ」をご参照ください。

株式会社サンリオと新作ゲームの共同開発を合意

当社の子会社である株式会社エイチームエンターテインメントは、株式会社サンリオと新作ゲームの共同開発に合意したことをお知らせいたします。

ゲーム内容等の詳細につきましては、公表が可能となり次第、開示いたします。

エンターテインメント事業の 今後の事業方針

自社タイトル中心から協業案件主体へ リスクを低減し、安定的な黒字運営が可能な事業構造へ転換

今後の数年間は新規協業案件リリースに向けた準備期間

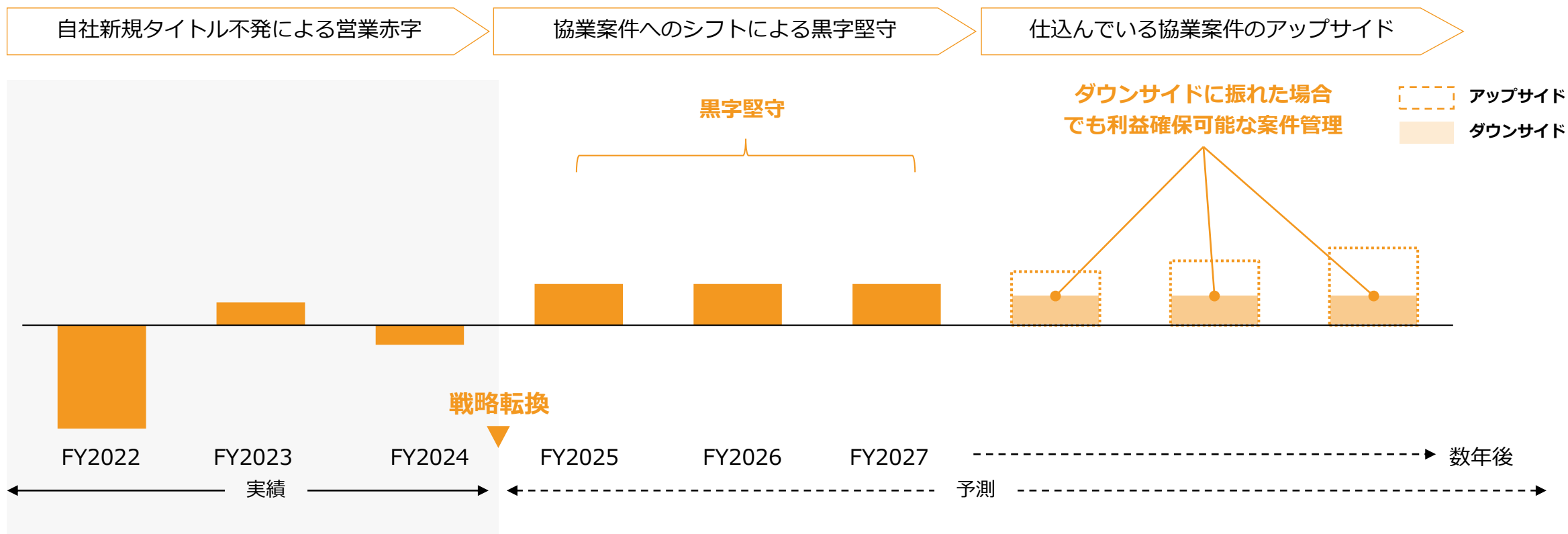
自社案件中心から協業案件を主体とした、プロダクトポートフォリオの入替え期

エンタメ事業の赤字リスク低減

協業によるリスク分散と経営管理体制の強化により黒字を堅守

今後数年間は協業案件リリースに向けた準備期間として黒字を堅守。ダウンサイドケースでも黒字を死守しつつ、将来一部アップサイドも得られるプロダクトポートフォリオを構築。

営業利益推移イメージ



※ FY2025以降の営業利益推移についてはイメージであり、今後の業績に関する当社の予想を示すものではありません。そのため、様々な要因により業績に変動が発生する可能性があります。

これまで培ってきた企画力・技術力を活かし、大手企業や有名IPとの協業が可能。
結果、安定した収益ポートフォリオとアップサイドの両立を図ることが可能。

これまで

これから

ポートフォリオ

自社タイトル中心



協業案件中心

事業計画

投資リスクはあるが
アップサイドが大きい



投資リスク抑制×黒字堅守
これまでよりアップサイドは限定的

成功のポイント

企画力



緻密な案件バランス管理

強み

企画力、技術力（高度なリアルタイム通信を支えるインフラ技術）に加え、
IP提携基盤、グローバル展開力（全世界で展開・10言語対応の実績）

高度なリアルタイム通信を支える通信・インフラ技術などの「高い技術力」と、豊富なIP提携・コラボによる制作実績などの「IP提携基盤」を強みとして、今後は協業プロジェクトを強化していく。

高度なリアルタイム通信を支える通信・インフラ技術



国内初のフィーチャーフォン向けリアルタイムMMORPG「エターナルゾーン」をリリース。リアルタイム通信技術を駆使して開発。



ハイファンタジーRPG「ヴァルキリーコネクト」当時では真新しい3Dグラフィックでの開発に成功、高品質なグラフィックが話題に。



『FINAL FANTASY VII THE FIRST SOLDIER』、国産初の本格バトルロイヤルとしてリリース。数万人規模のリアルタイム同時接続対戦を実現。Unreal Engineを活用し、高品質グラフィックな環境を構築。

豊富なIP連携・コラボによるIP提携基盤

2011年にリリースした「AKB48ステージファイター(GREE)」を皮切りに、有名IPタイトルとの共同開発、既存タイトルにおいても多くのIPとコラボした実績



2018～2024年

少女☆歌劇
レヴュースタァライト – Re LIVE –



2020～2024年

初音ミク – TAP WONDER –

© CFM



2021～2023年

FINAL FANTASY VII
THE FIRST SOLDIER

※ 『FINAL FANTASY VII THE FIRST SOLDIER（ファイナルファンタジーVIIザファーストソルジャー）』 © SQUARE ENIX は2023年1月にサービス終了しております。

既存事業の効率運営と開発費用を抑制できる協業案件で黒字を堅守する運営体制。事業赤字を未然に防ぎ、黒字を堅守する体制及び経営管理の実行により、リスクボラティリティを低減した事業運営を行う

エンタメ事業運営方針

既存タイトルの効率運営及び協業案件で黒字を堅守しつつ、IP協業案件の開発を推進

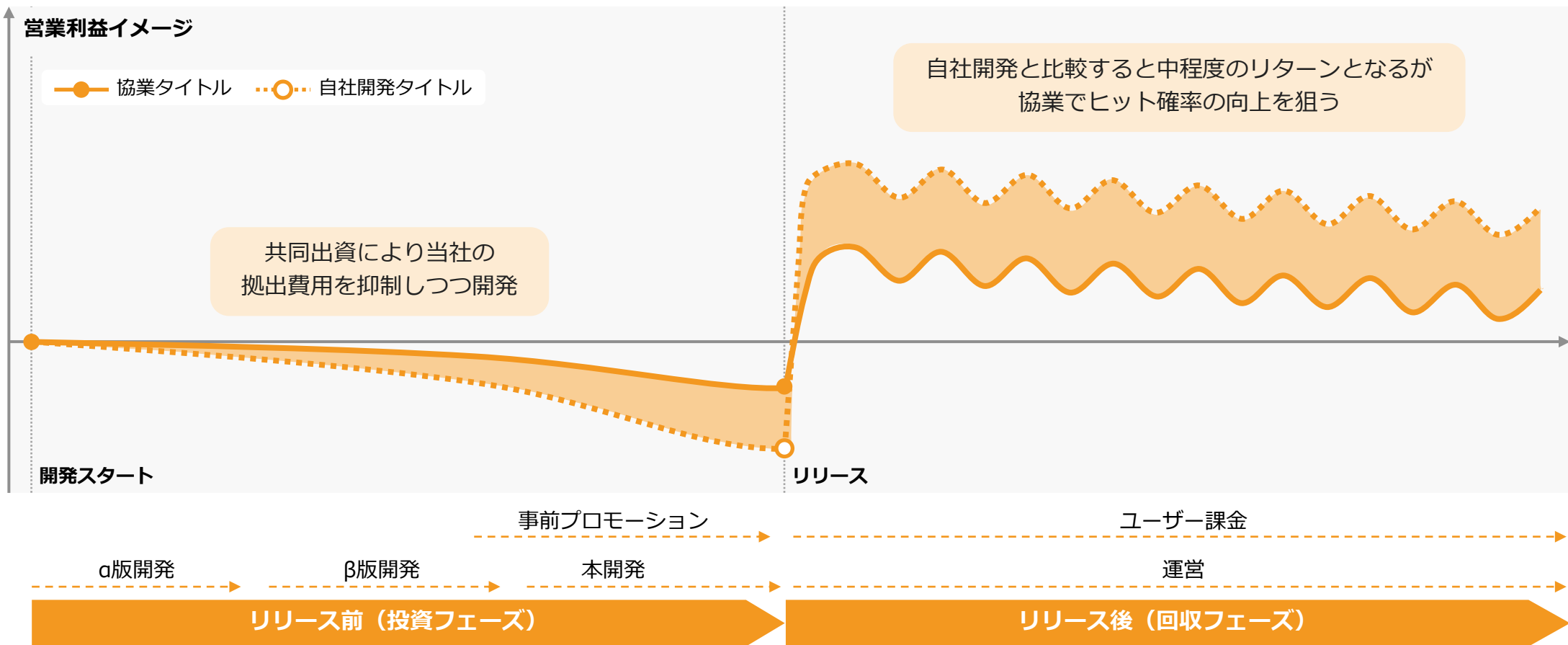
既存タイトルの効率的な運用を行いつつ、開発費用を抑えられる協業案件により黒字を堅守し、損失拡大を回避する。将来アップサイドも得られるプロダクトポートフォリオを構築すべく協業案件の獲得及び開発を進めていく。

リスクボラティリティ低減に向けた体制

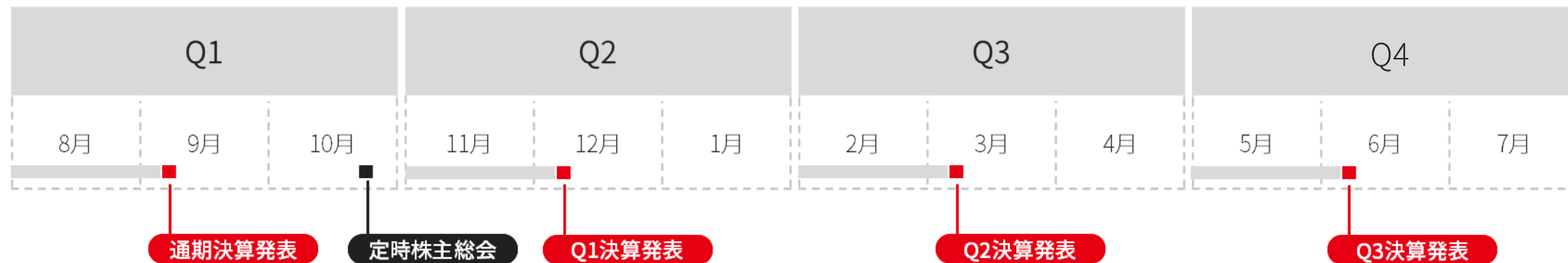
事業赤字を未然に防ぎ、黒字堅守する経営管理体制の実行

グループ全体での経営管理・予実管理の体制を構築し、事業ポートフォリオ管理の最適化を図る。主要指標・全社共通KPIの導入、適切な会議体で比較検討し、投資の判断をしていく。

共同出資して開発するタイトルでは、当社が拠出する開発費用の抑制をしつつ、リターンは自社オリジナルタイトル（当社完全出資）と比較すると限定的となる座組



年間スケジュール



お問い合わせ先

株式会社エイチームホールディングス 社長室 IR

E-mail : ir@a-tm.co.jp

ご意見 / ご質問 : [株主・投資家情報等に関するお問い合わせ](#)

- 株主・投資家情報 : <https://www.a-tm.co.jp/ir/>
- Shared Researchレポート : <https://sharedresearch.jp/ja/3662>
- Facebook Ateam IR ページ : <https://www.facebook.com/ateamir/>



Creativity×Techで、 世の中をもっと便利に、もっと楽しくすること

Combining Creativity and Tech to Deliver More Convenience and More Fun to All

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。